

小規模多機能型居宅介護施設 きやま虹の家「サービス評価」 総括表

法人名	若狭町社会福祉協議会	代表者	山崎 和男	法人・事業所の特徴	若狭町初の「民家を改修した小規模多機能ホーム」であり、利用者さんには住み慣れた自分の家と同じような感覚で過ごして頂くことができる。また、常勤の正看護師が配置されており、機能訓練や褥瘡予防、体調管理等の助言などにも力を入れている。また、地域の方には以前からのご近所づきあいのように、とれたての季節野菜、果物等の差し入れがあったり、そのいただいた収穫物で作ったお菓子でお礼をするなど、温かい交流を続けている。
事業所名	小規模多機能ホーム きやま虹の家	管理者	橋本 朋美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4人	人	1人	(1)人	人	3人	2人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・利用日が浅い方や目立たない利用者様にスタッフ皆で目を向けて、次の介護につながる様にする。 ・機能訓練に加え、月に一回以上、調理や手作業を取り入れた行事を行い、その役割を通して、生活機能の向上を図る。 	<p>利用者情報カードを作り、利用者様の介護につなげる様にした。</p> <p>生きがいつくりとして旬の野菜を作り、調理をしたり、手作業を取り入れた行事を行い、その役割を通して、生活機能の向上を図った。</p>	<p>内部評価と外部評価の項目がどう関連しているのか分かりにくい。</p> <p>職員の自己評価はあまり良い様には評価していない。(上を目指しているのか)</p>	<p>内部評価と外部評価の項目について、説明文を入れる。</p> <p>利用者情報カードを活用し、すべての利用者様にスタッフ皆で目を向けて生きがい作りを探し、旬の野菜を作り、調理をしたり、手作業を取り入れた行事を行い、その役割を通して、生活機能の向上を図る。</p> <p>利用者様の気持ちやペースに合わせた、その人らしい、心地よい日常生活の支援をしていく。</p> <p>内部研修・外部研修を充実させ、各職員が自己研鑽に努める。</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・2階を開放し、小学生に宿題や課外活動で利用してもらったり、地域の人にもっと施設を活用してもらえよう、地域や小学校にチラシを配布し周知する。 	<p>2階を開放し、小学生に宿題や課外活動をしてもらえるようにした。</p> <p>地域や小学校にチラシを配布し、小学生や地域の方たちに立ち寄ってもらえるようにした。</p>	<p>地域の人にとって開放的な施設という事を目指している反面、安全性の事も考えた工夫が必要になる事もある。</p>	<p>今後も地域や小学校にチラシを配布し、地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行う。</p> <p>地域の住民の方々にもいつでも気軽に立ち寄ってもらえる事業所の雰囲気を作る。</p>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の住民がいつでも気軽に立ち寄ってくれる事業所の雰囲気を作る。 ・イベントを企画し、地域の方々に協力や参加を呼び掛ける。 	<p>地域の皆さんに気軽に立ち寄ってもらえるように、声掛けをした。</p> <p>外出行事や感謝祭に、地域の方々に協力や参加を呼び掛けた。</p>	<p>地域とのつながりが深くなるよう努力しているのがうかがえる。</p>	<p>積極的に職員の勤務を調整し、地域の活動やイベント・会議に参加する。</p> <p>利用を中止されたあとも、積極的に声掛けし、関係が切れないようにしていく。</p> <p>イベントを企画し、地域の方々に協力や参加を呼び掛ける。</p>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き地域の人との関りを強めていく。 	<p>地域を巻き込んだ、柔軟な支援ができるよう努めた。</p>	<p>敬老会や宇波西祭り、認知症研修会等に参加し、地域との関係を持ってきている。</p> <p>利用者以外の近所の方に声かけを行って、虹の家に来て頂いている様だし、虹の家だよりを出してアピールされているのがわかる。</p>	<p>今の状況を継続し、地域を巻き込んだ、柔軟な支援をしていきたい。</p> <p>必要に応じて各関係機関と連携する。</p>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の運営推進会議で、登録人数や各字の利用人数が分かる資料を添付する。 ・委員さんと情報を出し合い、共有する。 	<p>運営推進会議の資料に、登録人数や各字の利用人数が分かる資料を添付した。</p> <p>委員さんと情報を出し合い、共有するよう努めた。</p>	<p>個人情報を守られる中で、ご近所の心配な方の情報を得るのは難しいのではないかと、人によっては関わって欲しくない人もいます。</p> <p>一軒家としての強みとしてカフェなど開くのも良い。</p>	<p>4月から第三水曜日に地域の方にも協力いただき、カフェを開く。</p> <p>委員さんと情報を出し合い、共有し、地域の気になる方々が地域の力を借りることが出来るようにしたり、虹の家などの介護サービスの利用につながるようにする。</p>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・29年度も地域の防災訓練に参加する。また、事業所独自の防災訓練も行う。 	<p>地域の防災講演会に参加し、また、事業所独自の防災訓練も行う。(3月19日予定)</p>	<p>地域づくり協議会からの情報も、積極的に収集すると良い。</p>	<p>地域の防災訓練に参加する。また、事業所独自の防災訓練も行う。</p>